

眉目ヨキガ美麗ノ武具ハ著給タリ、其心コソ知子共、アハレ大將ヤトゾ見ヘタリケル、
〔陰德太平記〕九鹽谷興久自害事

輕久ノ舍弟下野守、其外一門并ニ家子郎等坐ヲ列シテ、彼首實檢アリケリ、經久平生ニハ、吾齡幾程アラジ、其中ニ興久ガ首ヲ一日見テ、老後ノ鬱憤ヲ散ゼバヤト宣シガ、今此首ヲ一日見ラレシニ、日比ハ色白ク鬚黒ニテ、イト清氣ニ肥リタル顔バセノ、イツシカアラヌ様ニ引替タルヲ、見ルヤ否、アツト計ニテ、暫ハ人心地ヲ不付ケルヲ、略下

〔閑窓自語〕右少將公風裏美丈夫事

裏築地少將公風は、やごとなくうるはしく、男女老幼によらず、めでまよひけり、參内の日などはかりて、ちまたにいで、まち見る人もありしとぞ、元文三年には、たちにて四位にも、のぼらずうせぬ、これは戀ひしたる人々の執念つけるにやと、人いへりけるとなん、この人十五歳までは、中御門院在子時位のちごにてめしつかはれけるに、いとめづらかなるわらはすがたにて、女房などに多く心をうごかし、なにとなく内もそうくしく、て時議にもか、りけるとぞ、衛の彌子瑕、漢の董賢にも劣るまじきよそほひにやありけん、

美女

〔新撰字鏡〕女豆於佳反、美女貌、字

嬢良女反、婦大也、乎美奈也、

〔類聚名義抄〕女音蠶、又竹亞反、

妓カホヨキ女 娃鳥佳反、 燈ヨキナムナ

〔伊呂波字類抄〕疊字、美女

〔增補下學集〕支體上二カガコシ、姝上同

〔新猿樂記〕西京有右衛門尉者、一家相舉來集、所謂妻三人、娘十六人、男八九人云々、中第三妻者、有所之女、扇強絲一作、之同僚也、年十八、容顏美麗、放逸豐顏也、一偏立妖艷之道、未嘗知世間之上、中

十二君假借人者、侍從宰相頭中將、上判官藏人少將、左衛門佐等也、或文付梅枝、以隨身小舍人被賜、